

2年目にこそ必要な復興支援とは

一般社団法人RCF復興支援チーム
代表理事
藤沢 烈

代表 藤沢 烈 (ふじさわ れつ)

(社)RCF復興支援チーム 代表理事

外資コンサルティング会社勤務後、NPO・社会事業・ベンチャービジネス設立に特化したコンサルティング会社を経営。3.11後はRCF復興支援チームを立ち上げ、震災関連情報の分析や、被災地における事業創造に取り組んでいる

復興庁政策調査官、文部科学省教育復興支援員も兼務

(社)RCF復興支援チーム

(社)RCF復興支援チームは、2011年4月、震災復興のためのリサーチを行う団体として発足。現在はリサーチに加えて復興事業立案、コーディネートも含めた「復興支援プロデューサー」集団として活動している

- ・大船渡仮設住宅支援員配置支援プロジェクト(きたかみ復興支援協働体)推進支援
- ・岩手県釜石エリア 雇用マッチング支援プロジェクト(@リアスサポートセンター)推進支援
- ・岩手県大槌町・大船渡市と福島県相馬市における教育支援調査・企画支援(文部科学省)
- ・新日本監査法人・日本フィランソロピー協会・NPOカタリバと連携)

- 震災のこれまでとこれから
 - フェーズの変化
 - 教育支援
 - 仮設住宅支援
 - 県外避難者支援
 - コミュニティ支援

- 神奈川からできる支援
 - 情報を得る
 - 購入する
 - 地域に足を運ぶ

復興支援に関するロードマップ

	緊急支援期	生活再建期	復興支援期
期間	発災から3ヶ月	~1年	~3年
被災者の環境	避難所	応急仮設住宅	公営復興住宅
主なニーズ	炊き出し、物資 泥かき、片付け	仮設住宅入居支援 広域避難者支援 生きがい・しごとづくり	コミュニティ活動支援 まちづくり支援
主な担い手	外部の組織 個人ボランティア	地元へ段階的に移行 個人からNPOへ	地元中心

- 震災後約1年が経ち、支援段階は復興支援期に。地元・住民中心の復興が求められるようになる
- 被災地のニーズは仮設住宅支援や雇用支援から、コミュニティ活動や街づくりの支援へと変わっていく

テーマ	あるべき姿	現状
教育支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学習環境の整備 ・自主的教育環境、構造の再建 	NPOの支援により地元教育委員等との協調が起こるが、コンテンツはNPO依存
仮設住宅支援	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設住宅で孤立回避 ・自主的コミュニティ再建支援 	NPO支援のシステム化による住民参加の一部阻害
県外避難者支援	<ul style="list-style-type: none"> ・県外避難者への公的サポート支援 ・自主的コミュニティ再建支援 	対応者なし、未対策
コミュニティ支援	<ul style="list-style-type: none"> ・外部支援をコミュニティの自治の動きにつなげていく 	外部支援と地域内部の動きの協働が難しい

- 復興支援期での支援内容は、コミュニティ活動再建が主眼テーマ
- コミュニティ活動再建を実施する地元住民のエンパワーメントが機能しきっていない

- 震災のこれまでとこれから
 - フェーズの変化
 - 教育支援
 - 仮設住宅支援
 - 県外避難者支援
 - コミュニティ支援
- 神奈川からできる支援
 - 情報を得る
 - 購入する
 - 地域に足を運ぶ

仮設住宅の建設や合同授業により居場所が減少



「校庭に仮設住宅が建設され、狭くなった校庭で遊ぶ児童」



「勉強する場所がなく、仮設住宅前の道端で漢字のドリルで勉強をする小学生」

- 仮設住宅の暮らしで自宅に学習できる環境がなく、学習意欲が低下
- 学習に影響があると考えている学校は60%に上る

被災地中学校“学業に影響”6割

- ✓ 震災や原発事故で、生徒の学業に「影響がある」と答えた学校は60%(被災三県の公立中学校582校中、448校が回答)
- ✓ 具体的な影響として、「授業の減少」が49%、「学習が遅れが出ている」と考えている学校は47%に上る
- ✓ 学習の遅れの理由として、「生徒の転校が相次ぎ学習の進度に違いが出たこと」や、「仮設住宅での暮らしで自宅で学習できる環境がないこと」を挙げる学校が多い
- ✓ 「震災以降、環境の変化での生徒の学習意欲が低下した」と答えた学校もある

NPOカタリバの女川町(女川向学館)での取組

- ✓ 女川町教育委員会が場所と情報を提供
- ✓ PTA関係者が運営を手伝い、地域住民が子どもたちの様子を見守る
- ✓ 送迎バスの運行や講師への報酬、暖房費など運営経費は企業や財団などの寄付金で賄っている



- ✓ 空き校舎にて無料の学習塾を開放
- ✓ 地元20～60代の塾講師ら12人を雇用



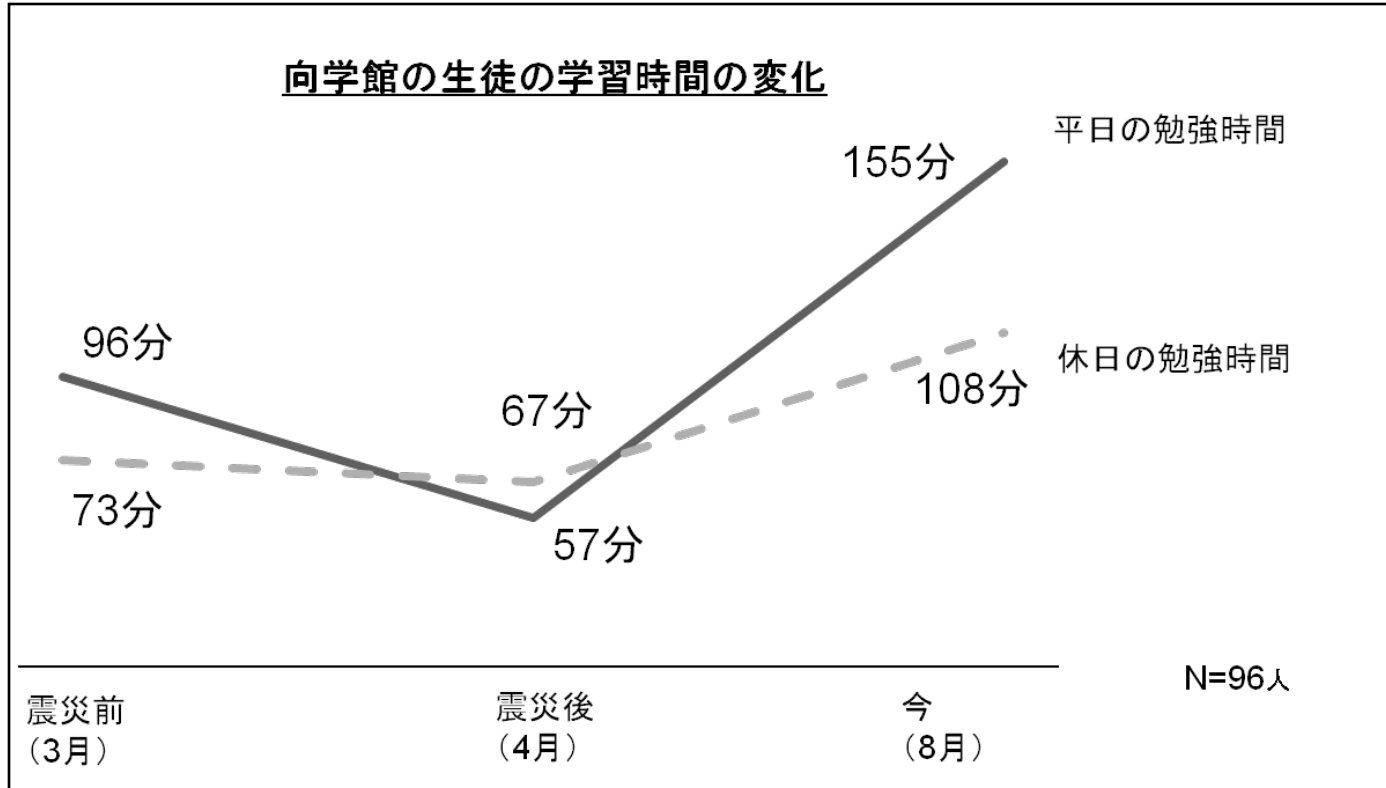
- ✓ 無料の送迎バスを運行



- ✓ 冬季の暖房なども手配

- NPOカタリバが、被災し失業した塾講師を雇用し、放課後の学校を使って、子供たちに学ぶ場を提供する「コラボ・スクール」を運営。
- 2011年7月より宮城県女川町(「女川向学館」)、12月より岩手県大槌町(「大槌臨学舎」)にて展開

女川向学館に通う生徒の学習時間の変化



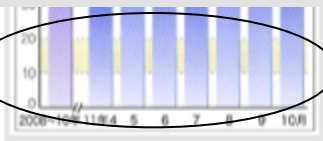
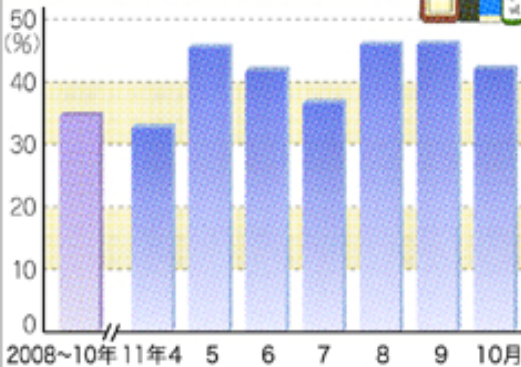
- 女川向学館に通っている生徒は被災直後の4月と比べ、平日の勉強時間が270.4%、休日でも160.3%増加
- 被災前の学習時間と比べても平日で161.9%、休日で148.3%にまで増加

資料: 女川向学館アンケート(8月30日)

- 震災のこれまでとこれから
 - フェーズの変化
 - 教育支援
 - 仮設住宅支援
 - 県外避難者支援
 - コミュニティ支援
- 神奈川からできる支援
 - 情報を得る
 - 購入する
 - 地域に足を運ぶ

家、仕事失い酒・・・/被災地アルコール依存増

東北会病院の新患に占める
アルコール依存症関連患者



仙台市青葉区)の石川達院長(精神科医)は「アルコール依存症は、うつ、孤独死の問題とトライアングルを形成している」と強調。「ストレスがたまりやすい被災地で今後、飲酒問題が一層重いテーマになることは間違いない」と警鐘を鳴らした。

東日本大震災の被災地で、アルコール依存症となる被災者の増加が懸念されている。家や仕事を失い、先行きへの不安や不眠症状などを解消しようと飲酒に走るケースが目立つ。1995年の阪神大震災でも、アルコールの問題は孤独死につながる重要な要素と指摘された。深刻な事態に陥るのを未然に防ごうと、医療関係者が対策に乗り出している。(成田浩二)

○専門家、孤独死を懸念

「災害とアディクション(依存症)」をテーマに、仙台市内で5、6日に開かれた「東北アルコール関連問題研究会」。東北各地の医療関係者ら約140人が集まった会場は重い空気に包まれた。

「酒浸りの男性が仮設住宅に引きこもっている」「妻子へのドメスティックバイオレンス(DV)の問題が起きた」「現場スタッフだけでは対応しきれないケースも多い」...被災者の心のケアなどに取り組む人々の生々しい声は、飲酒が絡む問題の深刻な実態を浮き彫りにした。

アルコール依存症患者専用の病棟を持つ東北会病院(仙

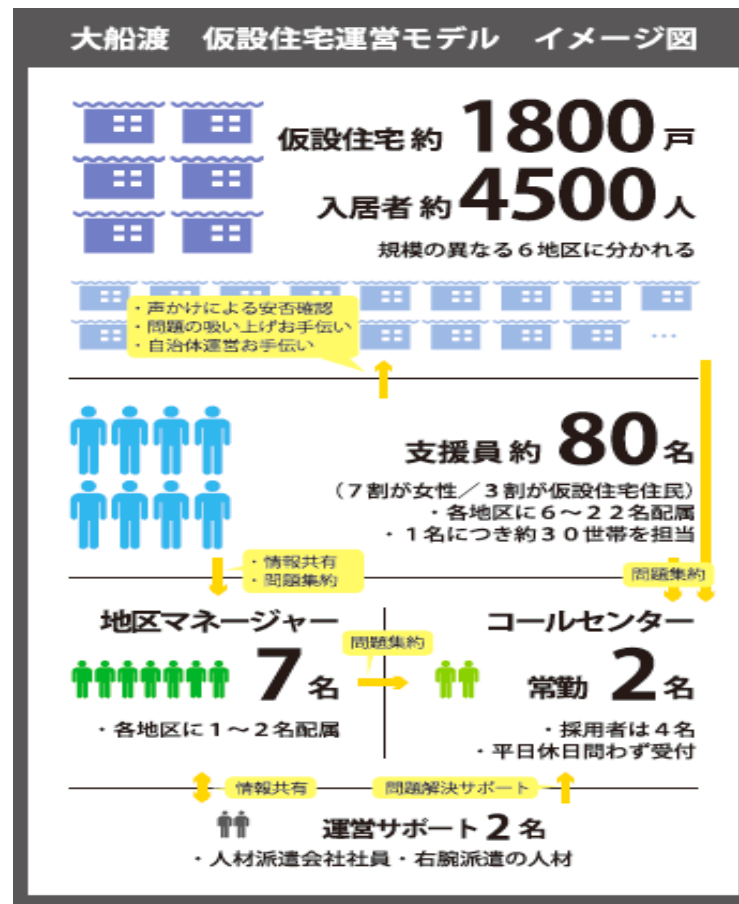
- ✓ 震災前は新患のうち約30%がアルコール依存症であったのに対し、震災後は40%を超える
- ✓ 阪神淡路大震災後に仮設住宅で孤独死した被災者253人のうち、病死した40代~60代男性の約3割がアルコール性の肝疾患
- ✓ アルコール依存症はうつ、孤独死の問題と関係性が高い
- ✓ 東日本大震災関連の被災3県の自殺者は計49人(内閣府)

- 東日本大震災関連の被災3県の自殺者は計49名(6~11月、内閣府調べ)
- 震災前は新患のうち約30%がアルコール依存症であったのに対し、震災後は40%を超える(仙台市)
- アルコール依存症はうつ、孤独死の問題と関係性大

支援員の活動拠点分布図

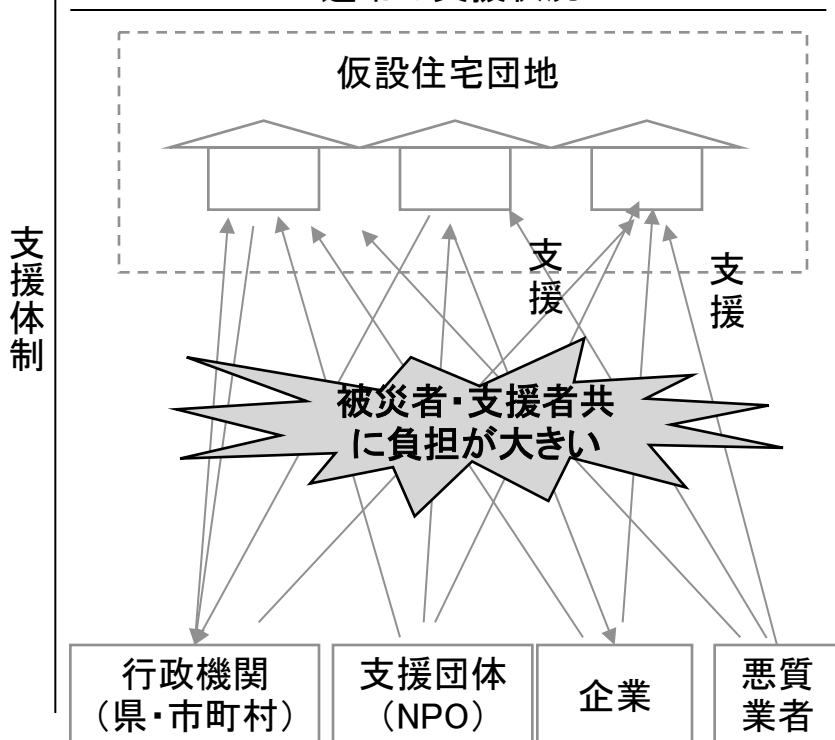


イメージ図

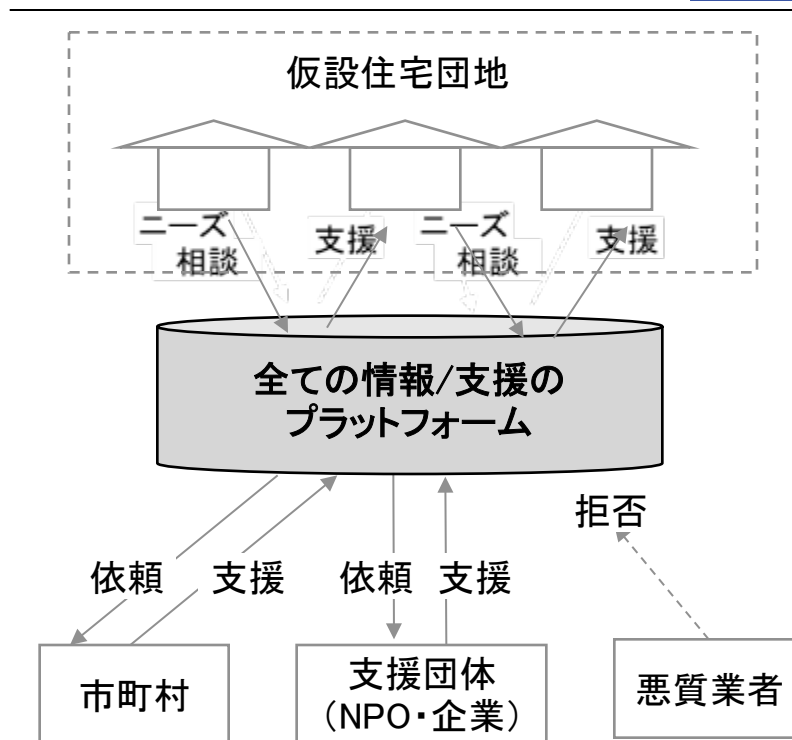


- 北上市とNPOが企画、人材派遣会社が運営。岩手県・大船渡市が連携し、2011年8月より大船渡市内全37か所の仮設住宅運営支援事業を実施

通常の支援状況



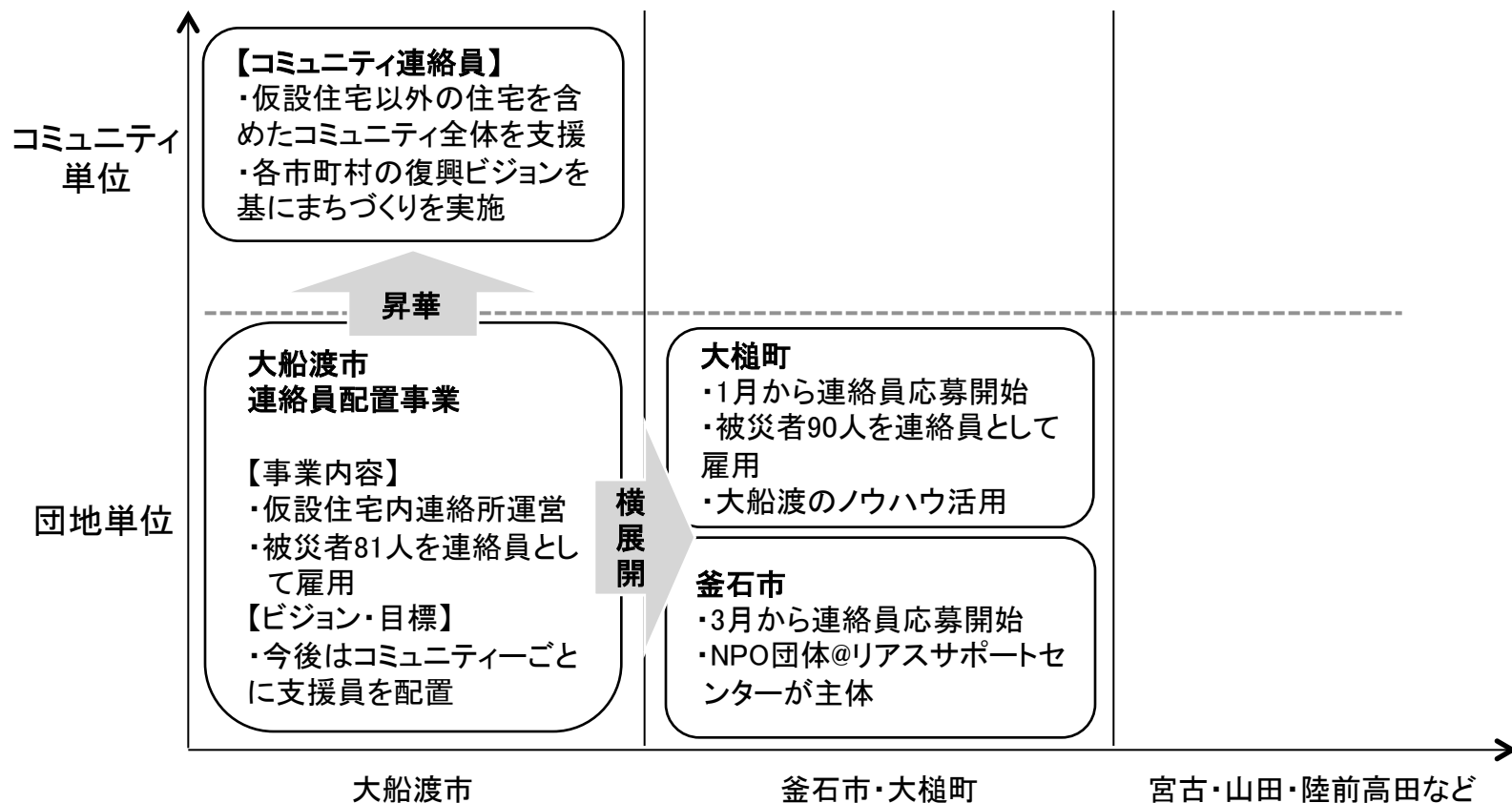
大船渡市での支援員モデル



- ✓ 支援団体は別々に支援を実施
- ✓ 各団体のリソース不足により、支援は短期的に
- ✓ 仮設住宅間の支援格差が発生
- ✓ 住民は誰に相談していいのかわからない状況

- ✓ 支援団体と仮設住宅を繋ぐプラットフォームに全ての情報/支援を集約
- ✓ リソース不足の解消と住民ニーズの把握により長期的かつ効果的支援が可能
- ✓ 仮設住宅間の支援格差を解消

- 支援体制が入る以前は情報経路が複雑化し、ニーズの把握が難しく、支援の程度に格差が発生
- 大船渡市では、民間・行政連携の支援員事業により、支援の平準化を実現



- 対象地域の拡大: 大船渡市の仮設住宅支援事業をモデルケースとして、他地域への横展開を進める(大槌町・釜石市で実施予定)
- 支援範囲の拡大: 「みなし仮設」など、仮設住宅団地外の被災者の方も支援の対象とし、地域コミュニティ単位での支援を目指すとともに、市町村と連携してまちづくりを行う

- 震災のこれまでとこれから
 - フェーズの変化
 - 教育支援
 - 仮設住宅支援
 - 県外避難者支援
 - コミュニティ支援

- 神奈川からできる支援
 - 情報を得る
 - 購入する
 - 地域に足を運ぶ

福島15万人が異郷で越年／県外6万、増加傾向

東日本大震災と福島第1原発事故で、福島県民の7.8%に当たる約15万7000人が県内外の避難先で年を越す見込みとなったことが、県への取材で29日分かった。(加賀山仁)

県によると、政府の東日本大震災復興対策本部などを通じて把握した県外避難者は6万1659人(15日現在)。福島を除く46都道府県すべてで避難者が生活している。

このうち1000人を超えるのは東京都、北海道、宮城、秋田、山形、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川、新潟、静岡各県の計13都道県。

最多は山形県の1万2945人。子育てなどを理由に、原発事故の避難区域以外から自主避難した人が7割程度を占めるとみられている。福島市に近い米沢市に3845人、アパートなどが多い山形市には5548人で、両市に集中している。

県外避難者は今なお増加傾向にある。隔週で行われている福島県の集計で6月30日時点では4万5242人だったが、8月11日に5万人、11月16日には6万人をそれぞれ突破した。11月30日から12月15日までの半月でも492人増えた。

一方、県が12月28日現在でまとめた仮設住宅の入居状況などによると、県内の避難者は9万5899人。内訳は仮設住宅が3万1265人、借り上げ住宅が6万3223人、公営住宅が1411人となっている。

県は市町村の要請に基づき仮設住宅1万6619戸の建設を計画し、うち1万5788戸が完成した。いわき市や南相馬市は住民の要望が集中し、民有地も活用して建設を急いでいる。

県の集計は避難先の自治体で行政的な手続きを取ったり、公的支援を受けて住宅に入居したりした人が主な対象。このほかにも、自力で住まいを確保した人がかなりいるとみられる。

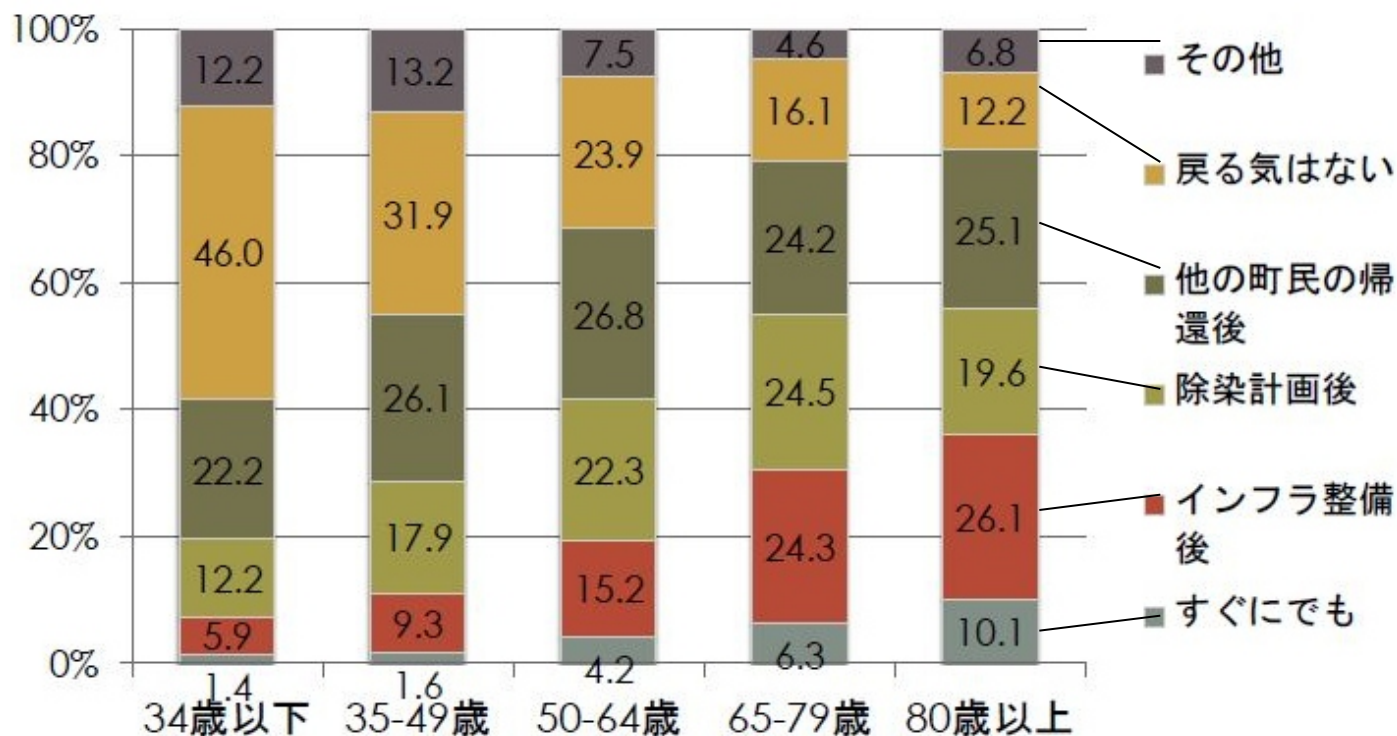
県外避難者数

都道府県名	避難者数
山形県	12,945人
東京都	7,421人
新潟県	6,692人
埼玉県	4,701人
千葉県	3,126人
茨城県	3,150人
その他	23,624人
総計	61,659人

- 福島県から県外への避難者総数は62,110人に上る(2月20日調査時点)
- 最多は山形県の1万2945人。子育てなどを理由に、原発事故の避難区域以外から自主避難した人が7割程度を占めるとみられている

資料:河北新報WEB 福島県から県外への避難状況(12月15日調査時点)

帰還の意思：年代別（有効回答数 18,625人）

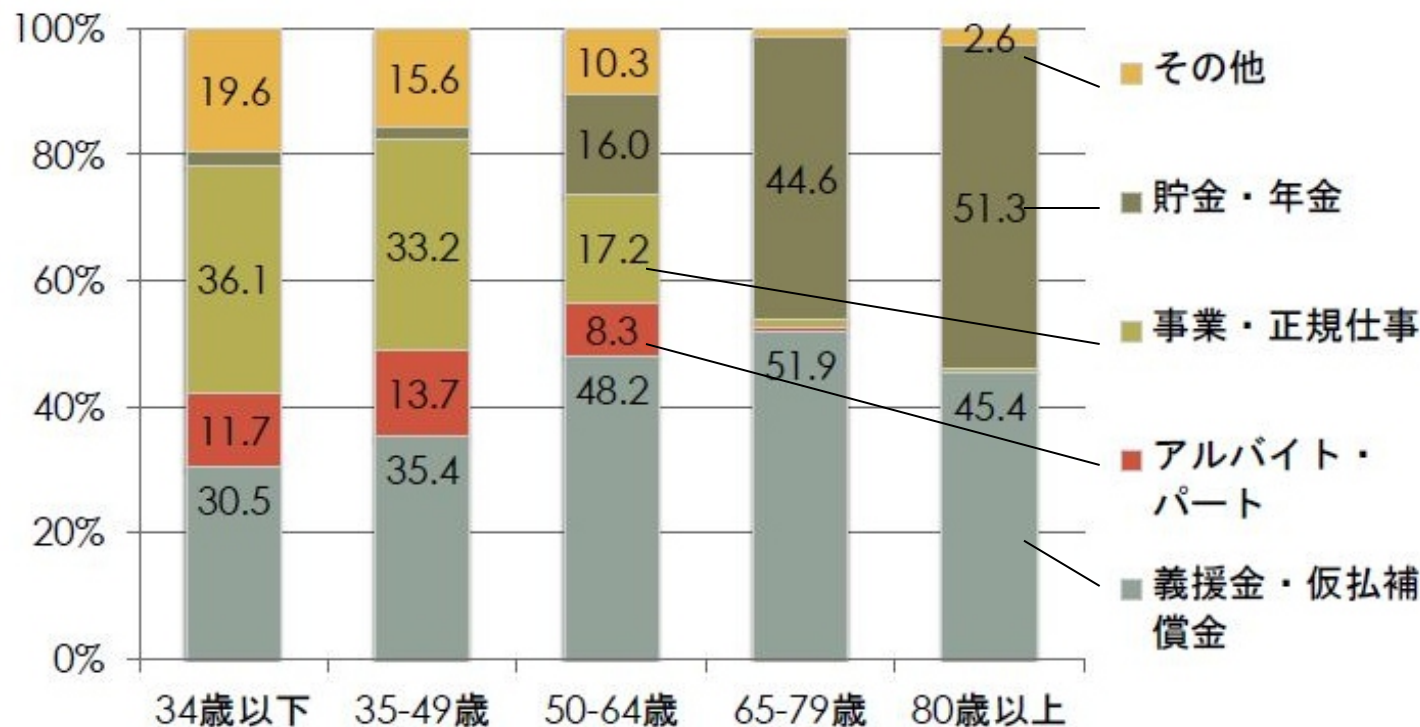


- 34歳以下の避難者は46%が、35～49歳は31.9%が「戻る気はない」と回答
- 一方、80歳以上は81%の県外避難者が帰還を考えている

資料：平成23年度双葉8か町村災害復興実態調査 基礎集計報告書（福島大学災害復興研究所編）

注：本調査は、双葉8か町村から県内外に避難した住民を対象としている

今後中心となる生活設計：年代別（有効回答数：18,625人）

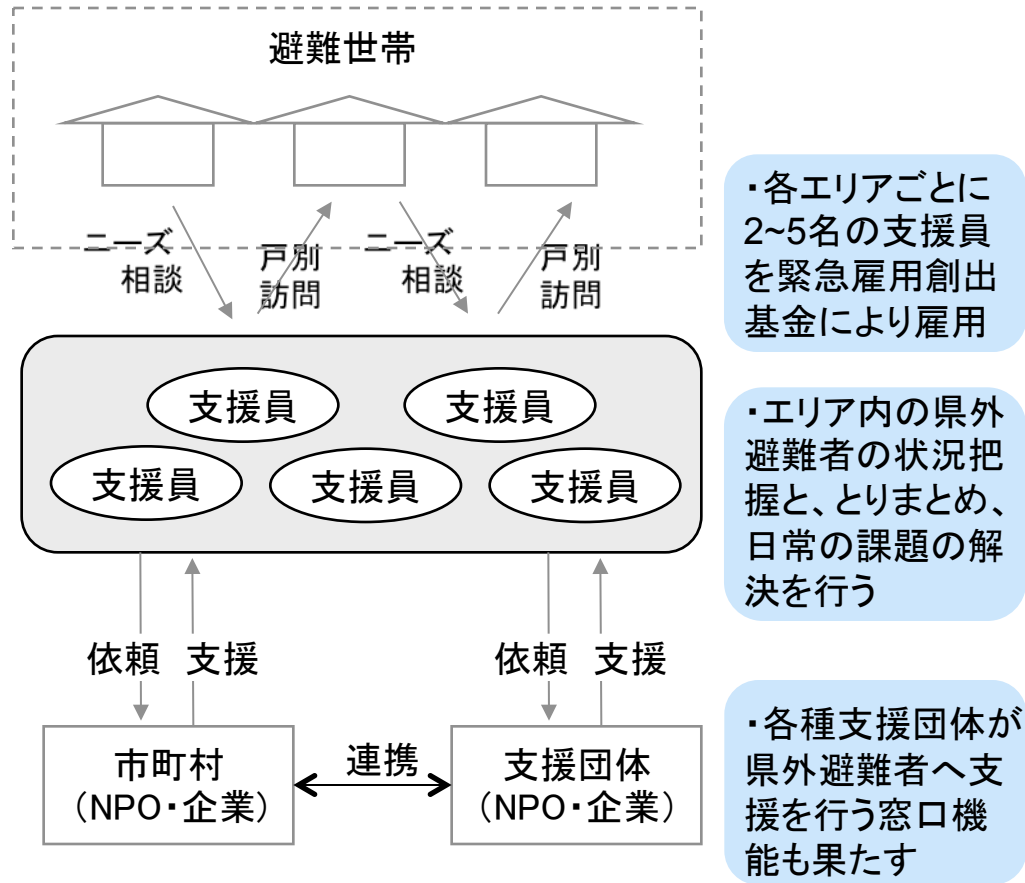


- 「義援金・仮払補償金を生活設計の中心と考えている」が、34歳以下で30.5%、50歳以上では約半数にのぼる
- 帰還後の生活設計の見通しが立っていない避難者が多数存在する

資料：平成23年度双葉8か町村災害復興実態調査 基礎集計報告書（福島大学災害復興研究所編）

注：本調査は、双葉8か町村から県内外に避難した住民を対象としている

支援員の配置によって状況把握と支援を一本化



- ・ 県外避難者の状況は、面的には把握できていない
- ・ 住民の課題解決や、外部支援の窓口として遠隔避難者支援員の設置が考えられる

- 震災のこれまでとこれから
 - フェーズの変化
 - 教育支援
 - 仮設住宅支援
 - 県外避難者支援
 - コミュニティ支援

- 神奈川からできる支援
 - 情報を得る
 - 購入する
 - 地域に足を運ぶ

馬場中山地区 復興概要

①外部支援



外部からの重機器、人材ボランティアの提供

②成功モデル創出



ミサンガ内職開始

③地域・行政における正統化



- 外部からの支援、情報により復興が進行
- 外部との協働スタイルへの理解

④アクション誘発

建設前



建設後



左：100年後も町を繁栄することを狙い、海に近い地域から即座に高台へ移動できるルートを確認した未来道を実現

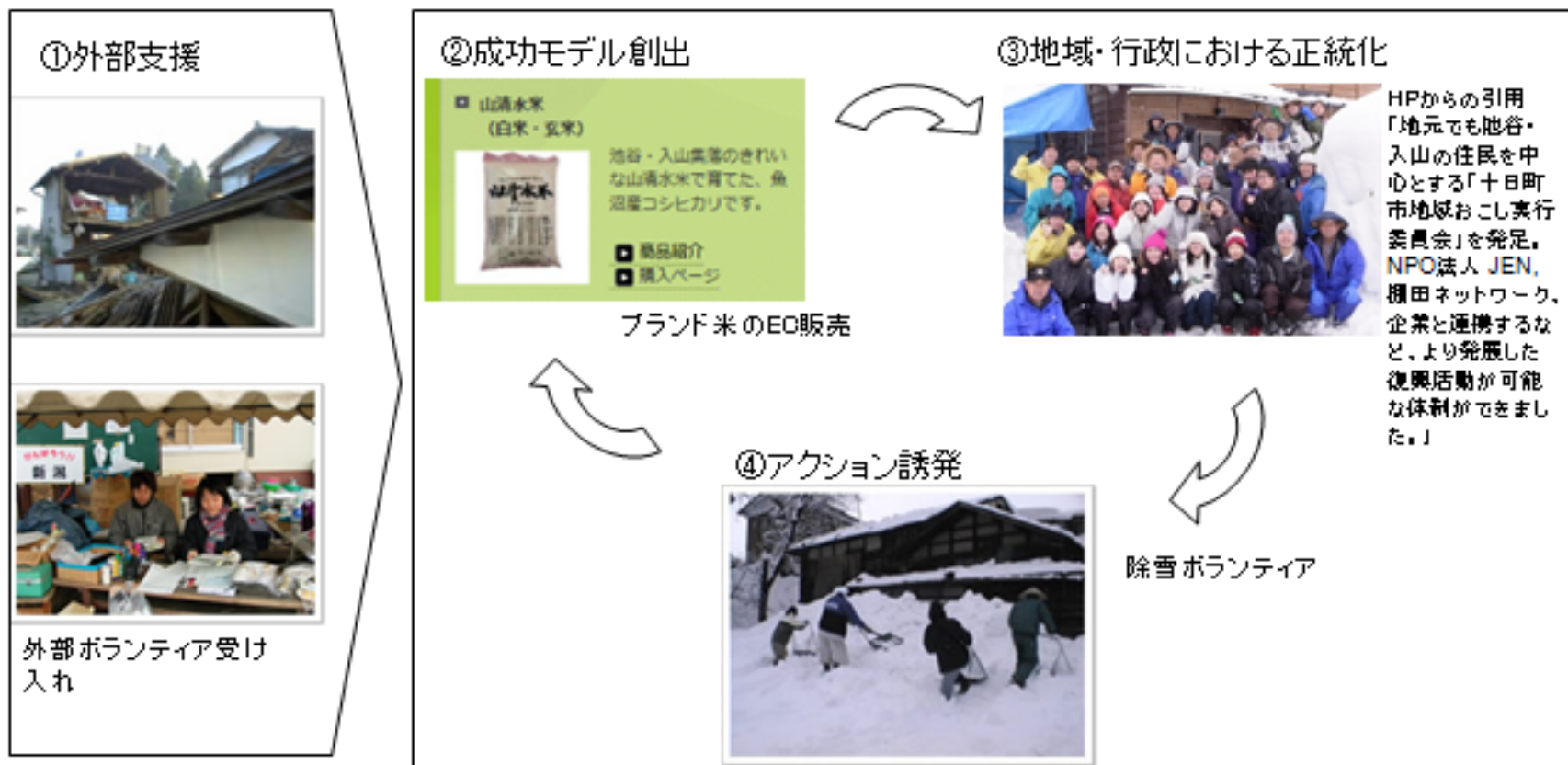
右：野菜栽培の開始



- 馬場中山集落は、宮城県南三陸町にある100世帯、400人が暮らす漁村集落
- 外部からのボランティアや企業からの支援をコミュニティにつなぐことで、住民自身で全長1.3kmの幹線道路(未来道)の計画・建設やミサンガ内職、わかめ養殖産業復興に取り組んでいる

出典：馬場中山地区 未来道プロジェクトウェブサイト (<http://www.babanakayama.jp/info/miraidou/index.html>) より

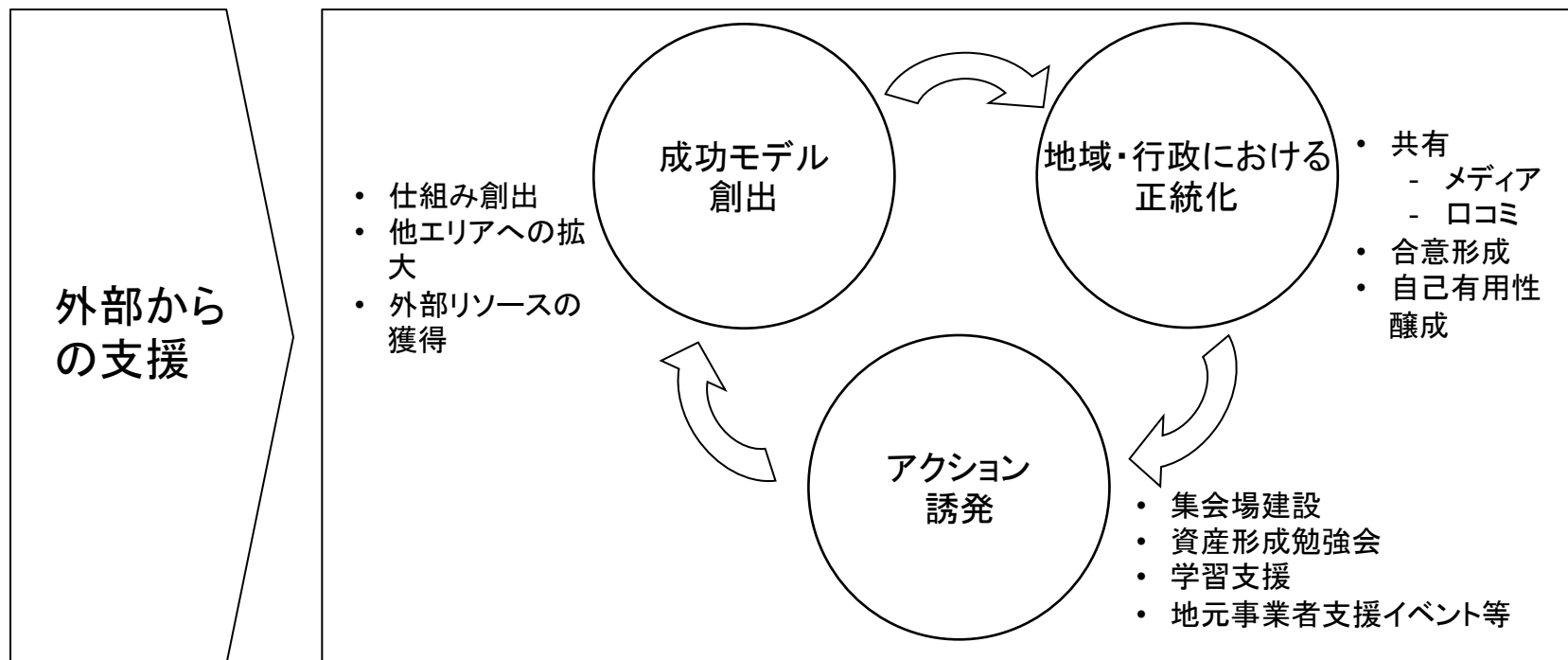
十日町池谷・入山地区 復興概要



- 中越大地震(2004年)での十日町池谷・入山地区における廃村危機からの好転事例
- 住民側から興ったNPOの調整により、外部ボランティアや企業からの支援を効果的に活用する

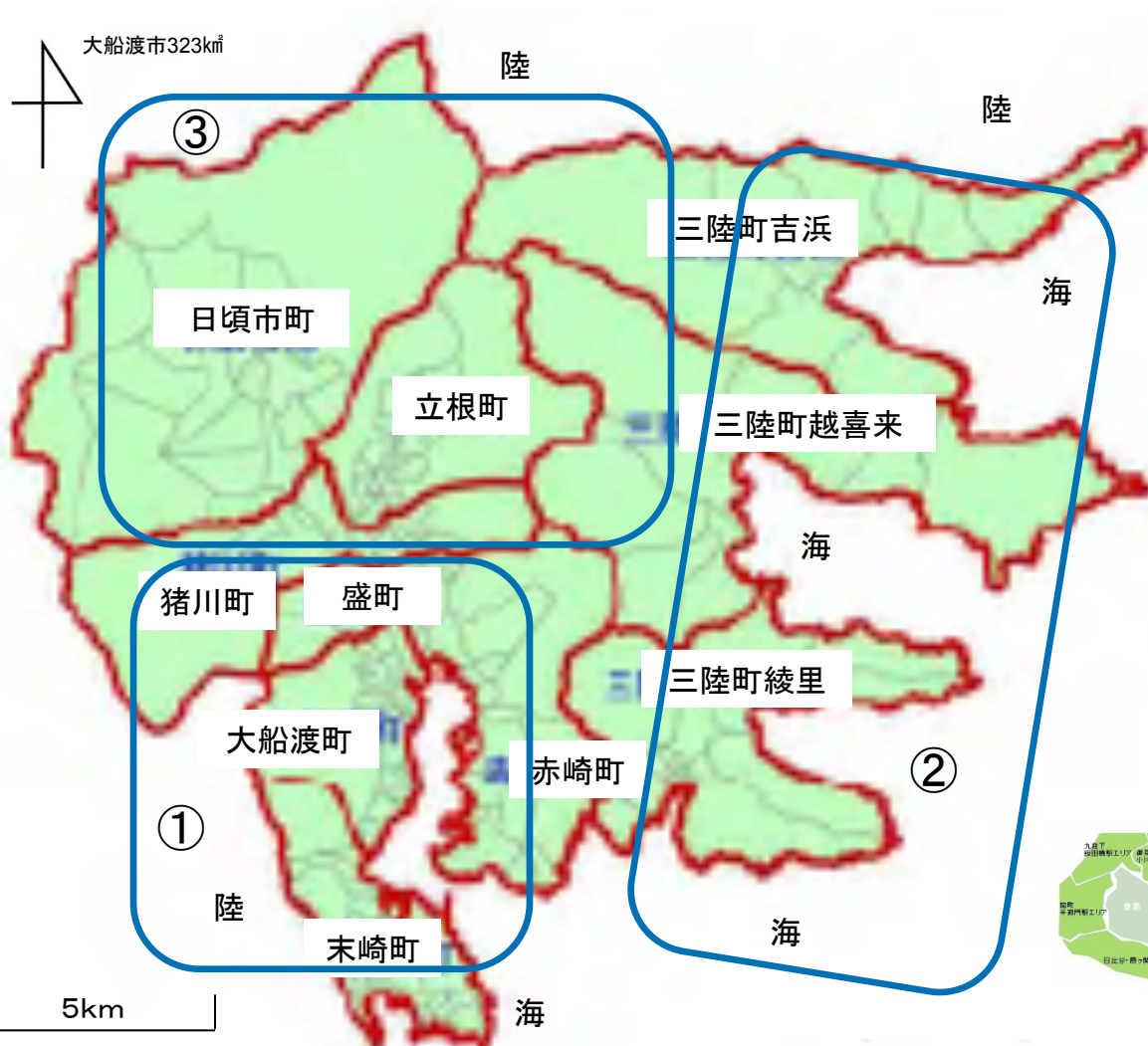
- 自律的な住民コミュニティ構築のためには、外部支援、モデルの正統化、住民内での自由なアクションの誘発、成功モデルの創出が必要
- 住民コミュニティでの自律的な復興を加速するメカニズムを機能させるには、外部からの支援、視点、情報が必要

自律的な復興を加速するメカニズム(仮説)



コミュニティ構成単位が20戸未満程度(仮説)では「成功モデル創出」と「正統化」のプロセスはほぼ同時期に起こり得ると推定

- 大船渡市の町で、それぞれ被害が異なり、一律の対応は不可能



大船渡市でのエリア別課題

- 市街復興地域
 - 大規模産業復興
 - 都市機能回復
- 農漁村復興地域
 - 漁業、農業の自発的復興
 - 小規模エリア内での流通
- 自活支援地域
 - 都市機能ダウンでの地域自治の推進
 - 経済活動の推進
 - 沿岸地域の復興支援



参考：東京都千代田区11km²

盛町(被災家屋の内(以下略)、約2割が全壊、死者行方不明者17名)、大船渡町(約8割が全壊、死者行方不明者145名)、末崎町(約8割が全壊、死者行方不明者61名)、赤崎町(約7割が全壊、死者行方不明者60名)、三陸綾里町(約7割が全壊、死者行方不明者26名)、三陸町越喜来(約8割が全壊、死者行方不明者96名)、三陸町吉浜(約2割(2軒)が全壊、行方不明者1名)、猪川町、立根町、日頃市町では全壊は合わせて2軒

- 震災のこれまでとこれから
 - フェーズの変化
 - 教育支援
 - 仮設住宅支援
 - 県外避難者支援
 - コミュニティ支援

- 神奈川からできる支援
 - 情報を得る
 - 購入する
 - 地域に足を運ぶ

■ 民間

- ・蒲鉾本舗高政 @takamasa_net
-個人事業主の方が復興情報発信
- ・キャンナス東北 @cannurseStaff
-被災地の医療情報を発信
- ・渡辺一馬 @1uma
-宮城県仙台市で地域づくりを行っている
- ・志津川中学校仮設団地自治会
@soulofseabass
- ・みなみかた第一自治会 @minamikata1jich
-仮設団地の自治会が情報発信
- ・女川さいがいFM @onagawaFM
-宮城県女川町の臨時災害放送局。FMの放送内容等を発信



■ 行政

- ・岩手県広聴広報課 @pref_iwate
- ・いわき市復興支援ボランティアセンター
@iwakisaigaivc

■ 第二部登壇者アカウント

- ・がんばっぺ石巻 @ganbappebiz
- ・Sweet Treat 311 @SweetTreatJapan
- ・共存の森ネットワーク公式アカウント
@Kyouzou_Net
- ・東日本大震災ボランティア支援担当
@nob_Tokyo
- ・神奈川災害ボランティアネットワーク
@ksvn0311
- ・藤沢烈 @retz





3.11復興支援情報サイト
助けあいジャパン
復興庁 連携プロジェクト
3.11 Reconstruction Aid Information Portal **Tasukeai Japan**
in cooperation with the Reconstruction Agency

『助けあいジャパン』<http://tasukeaijapan.jp/>

－復興庁と連携し、ボランティア情報や現地情報などを届けている民間プロジェクト

『岡本全勝のページ』

<http://homepage3.nifty.com/zenshow/>

－復興庁統括官・岡本全勝氏の個人ホームページ

『みちのく仕事』 <http://michinokushigoto.jp/>

－東北復興に携わる仕事の募集情報・復興支援者インタビュー

『ON THE ROAD』 <http://ontheroad.weblogs.jp/>

－現地からの支援報告



『名取市閑上(ゆりあげ)復興支援のブログ』

<http://blog.livedoor.jp/coolphoto/?p=2>

－震災復興のために宮城県名取市市議となった30歳の荒川さんのブログ

『南三陸&気仙沼を体感!“来て見て浜ライン”』

http://blog.goo.ne.jp/akazara_boy

－宮城県気仙沼市・南三陸町で、現地の方が復興に向けた取り組み・観光資源情報を発信

『ケセン元気玉プロジェクト』

<http://kame.citylife-new.com/e22486.html>

－岩手県大船渡市で仮設住宅や福祉施設等でボランティアを行っている方のブログ



東北復興新聞
@risetohoku

<http://www.rise-tohoku.jp/>



復興プロダクトvol.2 大漁旗ハンチング

- 復興のキーパーソンを紹介したり、ニュースや助成金など支援の情報を伝えたりしている
- 生活に関わる情報を知りたい被災者と、企業、NPOなどの支援者とを繋げる役目を果たす
- 隔週発行、無料購読可能。HPからも閲覧可能

出典：東北復興新聞

平成24年(2012年)2月22日(水曜日) とうほく (24)



笑顔が写った傘を開く園児たち

陸前高田市の米崎保育園(園児120人)で20日、子どもたちの笑顔の写真をプリントした傘を開き、東日本大震災の被災地の元気を発信するイベントが開かれた。

傘は直径120センチで、42本作った。園児約70人が園庭に集まり、自分たちの笑顔が写った傘を並べてハートの形にしたり、傘を持って行進した

笑顔の傘 元気を発信

陸前高田

りして楽しんだ。

東京のアートディレクター水谷孝次さん(60)らによる笑顔で世界をつなぐ「MERRY PROJECT」の一端。園児の笑顔はことし1月に撮影された。

水谷さんは「震災で厳しい環境にありながら、それに負けない子どもたちの笑顔に救われた」と話した。

河北新報

2月22日(水)

河北新報社

仙台市青葉区五橋1-2-28
(郵便番号 980-8660)



河北新報
@kahoku_shimpo



岩手日報
@IWATTE



福島民報
@FKSminpo

- 現地の地方紙は現地発信の復興情報や現地の課題が分かる
- 東北三県だと、河北新報、福島民報、岩手日報など
- 郵送サービスを使えば東京・神奈川でも購読可。HPでもチェック可能。各社ツイッターも行っている

- 震災のこれまでとこれから
 - フェーズの変化
 - 教育支援
 - 仮設住宅支援
 - 県外避難者支援
 - コミュニティ支援


- 神奈川からできる支援
 - 情報を得る
 - 購入する
 - 地域に足を運ぶ

■復興デパートメント <http://fukko-department.jp/>

1F 復興デパートメント FUKKO DEPARTMENT

チェック ツイート いいね! 1,000

復興デパートメントはハンドメイド品から産地直送品、伝統工芸品など、復興を目指す人たちによるさまざまなモノが集まる総合百貨店です。東北発の本当に美味しいもの・良いものを、現地の熱い想いを添えて皆さまにお届けします。

 <p>石巻元気便</p> <p>石巻応援セット</p> <p>復興に向けてがんばる人の元気を箱に詰めてお届けします！石巻元気商店の人気NO.1商品や未発売の新商品、故郷スイーツを詰め合わせた</p>	 <p>南相馬セットA 限定100セット</p> <p>南相馬応援セット</p> <p>皆様からのご支援を子供たちの笑顔に！販売利益で南相馬の子供たちの遠足企画を支援する期間限定特別企画セット</p>	 <p>会津応援セット</p> <p>福島元気な笑顔と美味しい食材をお届けしたい！会津の原乳100%にこだわった極上のセットや幻の鶏と言われた会津地鶏のセット</p>			
1F エントランス -ENTRANCE-	2F 石巻 -ISHINOMAKI-	3F 南相馬 -MINAMISOMA-	4F 会津 -AIZU-	Coming Soon	Rf 催事フロア -EVENTS FLOOR-

資料:復興デパートメント <http://fukko-department.jp/>



本田水産



魚介の宝庫石巻より旬の美味しさを！



高砂長寿味噌本舗



極みの仙台味噌と出逢ってください。



やがわ



伝統の手作りくるみ豆腐を和スイーツで。



島金商店



香ばしい茶色い麴、石巻焼きそばを！



津田鮮魚店



ピッチピチの石巻の明獲れ鮮魚を全戸へ直送します！



ファームソレイユ



石巻から手作りの卵にやさしいお菓子です！



石巻工房



「地域のものづくりのための場」を！



Coming Soon

1F エントランス
-ENTRANCE-

2F 石巻
-ISHINOMAKI-

3F 南相馬
-MINAMISOMA-

4F 会津
-AIZU-

Coming Soon

5F 催事フロア
-EVENTS FLOOR-



ファームソレイユ

石森元一郎さん

東北から一言

震災により被害を受け、残っていた原料や商品の賞味期限がきれて使用できずにいました。その後もなかなか原料が入荷できず大変でした。店舗の方は大丈夫だったが1ヶ月近く休業することになりました。しかし、「身体を考えた商品を作っていて食べる度に優しい気持ちになりますので、どうか大変でも頑張ってください」という声をお客様から頂き、家族3人で諦めず行こうと決めました。これからも、みなさんに喜ばれる商品を作っていきたいと日々努力精進しております。

この店のおすすめ商品



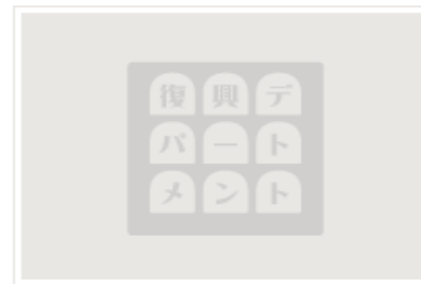
鳴子プリン (6個セット)

贅沢にたっぷりの生クリームを使用、流行のなめらかな口どけプリンです。甘さ控えめで飽きがこない味わいです。



豆乳と苺を使用したドリームプリン

キラキラと宝石のようなドリームピースをトッピングしたヘルシーな豆乳プリン。低カロリーでからだにやさしいスイーツです。



資料: 復興デパートメント <http://fukko-department.jp/>



大きい画像を見る

流行のなめらかプリン。甘さ控えめ、6個
セットでギフトに
鳴子プリン - 生クリームを使用した贅沢
なスイーツ、流行のなめらかな口どけプリ
ン

商品コード:F01-001

贅沢にたっぷりの生クリームを使用。
流行のなめらかな口どけプリンです。
甘さ控えめで飽きがこない味わいです。

新鮮な材料を厳選し1つ、1つ丁寧に作り上げました。
通常のなめらかプリンと違い、蒸し上げることによ
って、濃厚で真っ白なプリンに仕上がりました。

いつものティータイムに、大切な方へのギフトとしても
どうぞ。

同じ商品カテゴリ内の商品は同梱可能です。
同梱時の送料は受注後にストアより送料が訂正され
ます。

鳴子プリン6個セット

贅沢にたっぷりの生クリームを使用した、流行のなめ
らかな口どけのプリン

販売価格:2,000円(税込)

19ポイント獲得

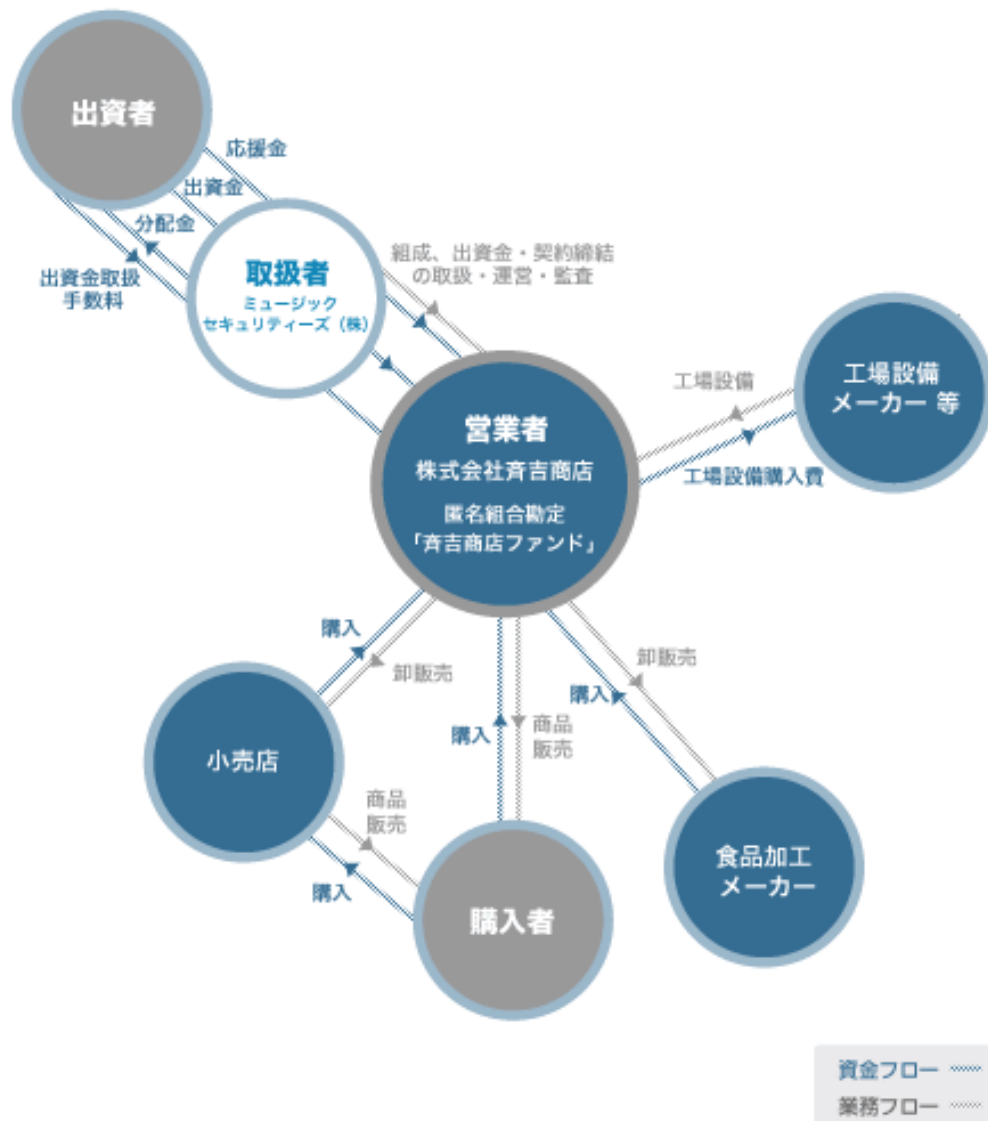
[送料・手数料について](#)

数量

カートに入れる ↓

在庫

在庫あり



•出資金の半分が投資、もう半分が企業への「応援金」となるファンド

•工場や資材を流されてしまった企業などの事業再開を応援できる

•出店している被災事業者のストーリーを知ることができる



<http://oen.securite.jp/>

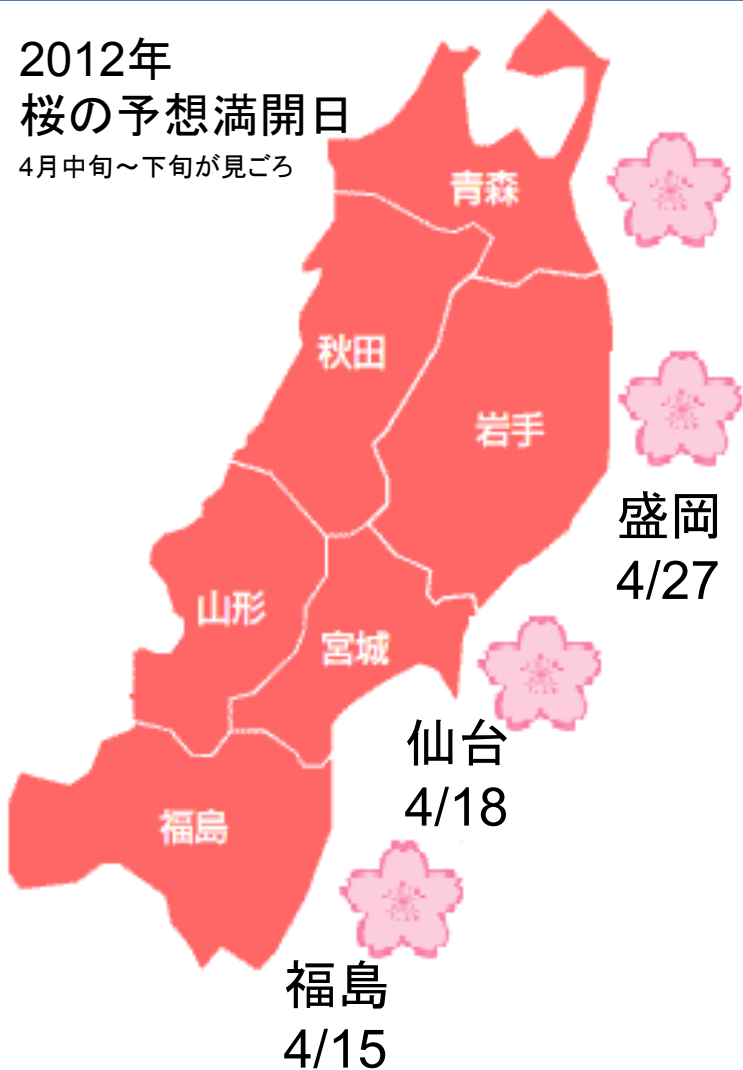
資金フロー
業務フロー

資料:ミュージックセキュリティーズ <http://oen.securite.jp/>

- 震災のこれまでとこれから
 - フェーズの変化
 - 教育支援
 - 仮設住宅支援
 - 県外避難者支援
 - コミュニティ支援
- 神奈川からできる支援
 - 情報を得る
 - 購入する
 - 地域に足を運ぶ

2012年 桜の予想満開日

4月中旬～下旬が見ごろ



岩手県釜石市 薬師公園



岩手県宮古市 臼木山



宮城県石巻市 日和山公園



宮城県気仙沼市 気仙沼大川



福島県いわき市 松が丘公園



福島県相馬市 中村城跡

資料：2012年版全国お花見900景
<http://hanami.walkerplus.com/list/tohoku.html>
ウェザーニューズ <http://weathernews.jp/>

■神奈川県ボランティアバス

- かながわ東日本大震災ボランティアステーション(<http://ksvn.jp/>)が定期的開催
- 週末を利用して2日間など短期で参加可能
- 清掃作業、養殖手伝いなどのボランティアを行う
- 横浜駅を夜出発し、翌日に被災地に到着



■NPOカタリバ 学習支援ボランティア コラボ・スクール

- 学習支援施設・女川向学館/大槌臨学舎(<http://www.collabo-school.net/>)
において被災した中学生に勉強を教えるボランティア
- 期間は1週間から募集している

資料: かながわ東日本大震災ボランティアステーション(<http://ksvn.jp/>)
コラボスクール <http://www.collabo-school.net/>

